

夏場の補聴器・人工内耳の管理について

湿気や汗・水濡れ対策はしっかりできていますか？

暑くて湿気が多い夏場は、補聴器や人工内耳の管理がとても重要です。汗をかいたり、プールなどの水遊びをしたりする機会が多くなります。汗には、水だけでなく塩分も含まれています。そのため、電池や補聴器・人工内耳がさびて、故障の原因になります。汗をかいたときや水で濡れたときは特に、補聴器や人工内耳をきれいに拭き取り、しっかりと乾燥させましょう。



●補聴器の保管方法●

補聴器の故障を防ぎ、長く使用できるように、補聴器の湿気対策をしっかりしましょう。補聴器の大敵である水分から守るために、各メーカーから様々な製品が販売されています。

乾燥ケース



補聴器専用の乾燥機



- 補聴器を乾燥させるときは、電池を外す。(乾燥ケースの中に入れていない。)
- 汗カバーが付いていたら外す。
- 電池ホルダーは開けたままにする。

●汗カバー●

カバーが外部からの汗を吸い取り、補聴器内部に汗が侵入するのを防ぎます。しかし、ぬれた汗カバーをつけたままにするとかえって逆効果です！濡れてしまったら、乾いたものと交換しましょう。



注意

補聴器や人工内耳は精密機械なので、熱にも弱いのです！夏場、直射日光が当たる窓際や車のダッシュボードなど、高温になる場所に置かないよう気を付けましょう。



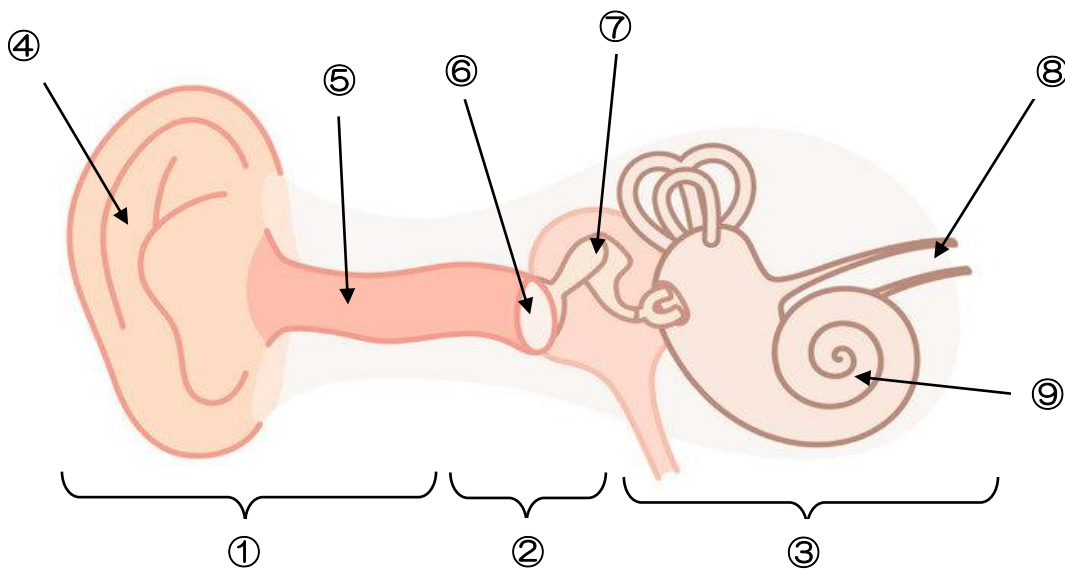
耳ときこえについて

みなさんは自分の耳のこと、どのくらい知っていますか？自分の耳やきこえについて知っておくことはとても大切なことですよ！①～⑬に当てはまる名前を□の中から答えましょう。

☆ 耳ときこえのしくみ ☆

耳は、『①』『②』『③』の大きく3つの部分に分けられます。

- 音は空気を通して耳に伝わります。(⑤)で音は大きくなり、(⑥)を振動させます。(⑥)にくっついてある3つの(⑦)でさらに音は大きくなって、カタツムリのような形の(⑨)に伝わります。音のふるえは(⑨)の中の(⑩)で電気信号に変わり、(⑧)を通して脳に伝わります。
- 難聴の種類や程度は、どの部分に原因があるかで異なります。
 - 『(⑪) 難聴』・・・外耳や中耳が原因で起こります。音が小さく聞こえます。補聴器を装用することで、大きくはっきりと聞こえるようになります。
 - 『(⑫) 難聴』・・・内耳や聴神経が原因で起こります。きこえ方は様々で、音が歪んで聞こえることが多いです。補聴器を装用すると、音は大きく聞こえますが、聞こえにくい音や歪んで聞こえる音があります。
 - 『(⑬) 難聴』・・・④と⑤が合わさったものとなります。



耳小骨	内耳	鼓膜	蝸牛	外耳道	伝音性	混合性
有毛細胞	中耳	感音性	外耳	聴神経	耳介	

耳介 ① 外耳
 聴神経 ⑧
 中耳 ②
 内耳 ③
 耳介 ④
 有毛細胞 ⑩
 外耳道 ⑤
 伝音性 ⑪
 感音性 ⑫
 混合性 ⑬